



# 岩永 やす代

いわながやすよ

東京・生活者ネットワーク政策委員/  
国分寺市議会議員



岩永 やす代

検索

### プロフィール

■1971年 国分寺市生まれ。国分寺市立第三小学校、第二小学校、第五中学校に学ぶ■90年中央大学杉並高校卒業 ■94年 中央大学文学部文芸学専攻卒業。私立高校勤務■97年 イギリスに1年間留学。帰国後、高校生の海外留学をサポートする仕事に従事■2006年 生活クラブ生協加入■10年 こひつじ園 年少クラス役員／国分寺・生活者ネットワーク政策担当■11年 国分寺市議会議員に初当選■15年 2期目当選■17年 文教子ども委員会委員長／東京・生活者ネットワーク政策委員長■19年 3期目当選。子育て、教育、人権、環境問題等身近なまちづくりの課題に取り組んできた●国分寺市東恋ヶ窪在住 ●家族:夫、子ども

岩永やす代にじいろレポートNo.3 2021年4月28日発行

発行責任者 加瀬よりえ

〒185-0003 東京都国分寺市戸倉1-8-43 千歳サンライズ206

TEL : 042-328-1885 FAX : 042-328-1878

e-mail kita2@seikatsusha.net https://iwanaga.seikatsusha.me/

## 東京から発信 ストップ!地球温暖化

原発は使わない!  
脱炭素社会の実現をめざして



2019年9月20日、渋谷の国連大学前に若者が集結、世界一斉デモ「グローバル気候マーチ」を開催、日本各地で5000人、世界163カ国400万人が気候危機に警鐘の声をあげました。写真は11月29日、新宿で行われた「グローバル気候マーチ」。生活者ネットワークも参加しました。

### 若者たちの行動が政治を動かす

スウェーデンの高校生グレタ・トゥンベリさんが国連で、気候危機に消極的な「大人」世代に怒りを込めて訴えました。

この運動に共感した都内で活動する学生団体「フライデー・フオー・フューチャー・東京(未来のための金曜日)」は、19年、約5000筆の署名と共に、都議会に「気候変動に対し非常事態宣言を求める請願」を提出しました。山内れい子都議が紹介議員として若者と都議会をつなぎましたが、結果は継続審査。都議会は判断を避けました。

### 「気候危機行動宣言」を有効性あるものに

近年、相次いで襲来する台風による広域被害を見ても、気候変動問題は、今まさに東京も直面している危機です。温室効果ガス排出削減をはじめとする気候危機対策をこれ以上先送りすることは許されません。生活者ネットワークは、一日も早く「気候非常事態」を宣言し具体的に行動することを知事に求めました。そして、1年後の2020年12月、都は「気候非常事態を超えて行動を加速する宣言」を発表しました。

### 岩永やす代のストップ!地球温暖化政策

- 原発は廃止し、再生可能エネルギーの利用を拡大する。
- エネルギーの地産地消をすすめる、市民電力の立ち上げを支援する。
- 新しい公共施設は、省エネ・創エネを前提とした建物のZEB(消費エネルギーゼロ)を義務化する。
- 省エネ意識や環境保護に向け啓発事業を実施する。

### 岩永やす代さんとともに活動しています



山内れい子  
都議会議員  
東京・生活者ネットワーク  
代表委員



高瀬かおる  
国分寺市議会議員



こはまかおる  
国立市議会議員



小坂まさ代  
国分寺・生活者ネットワーク政策担当  
岩永やす代のバトンを  
受け市政に挑戦します



橋本淳司

水ジャーナリスト/  
武蔵野大学客員教授

いくには、自然の声を耳をすまし、水や緑を大切にしていかななくてはなりません。短期的な経済成長だけを追いかける古いやり方と決別し、地域を愛し、不平等をなくす、生活者ネットワークの活動に期待します。

浅倉むつ子  
三木由希子

労働法研究者  
NPO法人  
情報公開クリアリングハウス

坪郷 實  
田中三彦

早稲田大学名誉教授  
東京電力福島第一原発  
事故調査委員会元委員

湯浅 一郎

ピース・デポ代表/  
環瀬戸内海会議共同代表

辰田 智子

まちの縁側くにたち  
かふえかサマシカ代表

豊泉 惣子

在宅福祉サービスNPO理事長  
生活クラブ生活協同組合理事長

増田 和美

衆議院議員(立憲民主党)

末松 義規

衆議院議員(立憲民主党)

大河原 まさこ

衆議院議員(立憲民主党)

### 岩永やす代さんを応援します



## 生活者ネットワークは実態調査に基づいた福祉政策を提案しています

自分が困っていることは、  
同じように  
困っている人がいる



池田 あつ子

都議就任期間 1985年～1997年

議員任期を終えた1997年に、市民の政策づくりを支援するNPO法人ひと・まち社を立ち上げ、1998年から2002年まで「介護保険制度検証のための基礎調査」として500名の高齢者に10回の聴き取り調査を行いました。調査結果を生活者ネットワークの各議員の福祉政策提案につなげました。

また、私の息子が24歳の時に、脳出血で言葉も発せず自分で体を動かすこともできなくなったのを機に、障害者支援にも取り組みました。「障害者総合支援法」は当事者がサービスを選択する制度ですが、「制度の谷間」があり、特に中途障害者の脳損傷の場合、100人100様の不便を抱え、社会参加が難しいのが現状です。息子は専門職の方々の支援により10年後には人の話に笑い、瞬きでYESの意思表示をし、眉を動かすことでパソコンをスイッチONにできるようになりました。当事者家族や専門職との協働は、共生社会の仕組みづくりの一つです。私はさらにNPO法人VIVIDを設立し、高次脳機能障害者を受け入れる就労継続支援B型事業所を開設しました。

私が都議会議員となった1997年に介護保険法が成立し、2000年から本格スタートしました。当初は、行政には頼りたくないという方たちも多く、その意識改革も必要でした。また、多様なサービス提供と質の向上を図り、安心して利用できる介護保険制度にするために、私たちは国分寺・国立で市民と共に、市民案づくりのワークショップを何度も開催しました。制度が始まると、サービスに関する苦情や不満とともに、制度がわかりにくいという声も上がっていました。利用者の立場に立った改善に向け第三者による「オンブズマン制度」も提案し、制度改正につなげました。

また、2000年当初から障害者差別禁止条例を制定すべきと提案し続け、2018年ようやく「東京都障害者への理解促進及び差別解消の推進に関する条例」が施行されました。

「子育て介護は社会の仕事」  
～福祉のしくみづくりを  
提案



大西 ゆき子

都議就任期間 1997年～2009年

私は2010年の議会で、高次脳機能障害に対してのリハビリ等支援体制を充実させることや障がい者も一緒になって働ける職場の確保を求めました。19年ようやく「就労支援とソーシャルファームの創設に関する条例」が制定され、21年3月には就労に困難を抱える方が働く場として28事業所が認証されました。私は「共に働く」ことを実践している市民団体の皆さんと懇談を重ね、都に要望を伝えています。

コロナ感染症の拡大で、介護従事者や医療関係者がリスクを負うと共に経営難にも陥っています。特に感染すると重症化しやすい障がい者や、介護・介助従事者・事業者の定期的なPCR検査が必要です。検査費用を都が補助することや、事業が継続できるように財政支援を行うことを要望しました。

コロナ対策は、  
徹底した命を守る政策で  
経済を廻す



山内 れい子

都議就任期間 2009年～2021年

### ケアラー支援条例をつくりまします!

高齢者や障がい者、疾病等により援助が必要な親族、友人など身近な人に対して、無償で介護や世話をしている人をケアラーと呼び、その支援策が重要な課題になっています。2021年2月、都議会で山内さんが提案したケアラー支援条例の制定を実現します。特に、18歳未満の子どもが親やきょうだい、祖父母などの世話をしているヤングケアラーも増えてきています。実態調査を急ぎ、介護を担う若者世代への対策を提案します。

都議会の市民の議席を  
つなぎます



岩永 やす代

## 岩永やす代の基本政策

安心・共生・自治  
のまちをつくる

必要なのは住まいと職、  
医療・介護・教育の充実です

### コロナ対策をすすめる

- すぐ対応できるPCR検査体制をつくる
- 医療体制を徹底強化と公衆衛生専門の人材を育成
- 失業・収入減で困っている人に生活給付金を

### 子ども・若者の今を大切に!

- 条例を生かし、子どもの権利を保障する
- 子どものSOSを受け止めるオンブズパーソン制度をつくる
- 児童相談所の設立を支援し増設する

### ひとりにしない介護～超高齢社会もこわくない!

- 介護する人をささえるケアラー支援条例をつくる
- 医療、介護のチームケアを確立し、在宅療養生活を支援する
- 住まいのシェアで、若者と高齢者が支えあうコミュニティづくりをすすめる

### 性別による差別をなくし、暮らしやすい社会をつくる

- セクハラ・DV・性暴力のない東京をつくる
- シングルマザーの支援を強化する
- LGBTQの理解啓発をすすめ、東京都にパートナーシップ制度を創設する

### 多様性を認め合う社会にする

- 障がいのある人もない人も共に働く場をつくる
- 外国人差別をなくし、東京を多民族共生の世界都市に!
- 地域ニーズを掘り起こし多様な仕事と働き方を創造

### ストップ地球温暖化と環境汚染

- 使い捨て容器ゼロ。リユースの推進で脱プラスチック
- 原発ゼロ! 地域分散型・再生可能エネルギー100%をめざす
- 香料による化学物質過敏症(香害)をなくす

### 都市農業と食の安全を守る

- 地場野菜を東京都が買い取り学校給食に提供、無償化を実現する
- 遺伝子組み換え・ゲノム編集食品の流通をストップ!
- 生産緑地を活用し、障がい者団体など農業の担い手となる農福連携をすすめる

### いらぬ大型公共事業はストップ

- 東京外郭環状道路は事故補償と大深度法の見直しで凍結!
- リモート時代に逆行するリニアは中止する
- 都心低空・羽田新飛行ルートは撤回へ

### 水害・地震・感染症に備える災害対策で安心・安全を

- 緑化をすすめるグリーンインフラで洪水に備える
- 避難所はテントとベッド配備でプライバシーと感染症対策
- キッチンカー・段ボールベッド・トイレトレーラーの防災3点セットの配備をすすめる

### 必要なのは働く議員! 都議会を市民目線で改革する

- 都議会の運営を見直し、議会基本条例を制定する
- いつでも都民のために働く通年議会を実現する
- 女性の声は新しく強い力! 都議会に女性議員を増やす

東京・生活者ネットワークは都議会議員・市・区議会議員合わせて41人の女性議員を持つ地域政党(ローカルパーティ)です。

### 生活者ネットワーク3つのルール

- 1 議員は交代制(ローテーション)
- 2 議員報酬は市民の政治活動資金に
- 3 選挙はカンパと、ボランティアで